

(3) 環境にやさしい日常行動の自己評価

当電力所では、事業所独自の取組みとして、所員の環境への日常的貢献活動や地域ボランティア活動などを「環境に優しい行動」としてポイント化し、自己評価することで所員の参加意識を高め、活動の活性化を図っています。

(様式1) 活動区分(電力所周辺) 1 (課・氏名) 送電課 工藤 孝

環境に優しい日常活動行動チェックシート (H20年 4月)

記入方法 各項目ごとに数値および「○」「×」を記入し、月末に獲得ポイント数を記入して下さい。

日(曜日)	通勤方法		事務所内(別紙)に記入(実施日に○を記入)	通勤活動(実施日に○を記入)	私生活(別紙)に記入(実施日に○を記入)	
	徒歩/自転車	自転車/車			エコドライブ/省エネ運転	省エネ運転
1 (火)						
2 (水)						
3 (木)						
4 (金)						
5 (土)						
6 (日)						
7 (月)						
8 (火)						
9 (水)						
10 (木)						
28 (土)						
29 (日)						
30 (月)						
合計	0	0	0	0	0	0

※1: 別紙1, 2 を参照し、獲得ポイントを記入
 ※2: 別紙1, 2 を参照し、獲得ポイントを記入
 ※3: 自転車・徒歩での通勤の禁止および一定距離での徒歩の実施。
 ※4: 当月、一回でも「×」があればポイント対象外となる。

日常活動(行動)獲得ポイント合計	日常	0	(点)
環境活動(ボランティア含む)への参加ポイント	1.5	(点)	
その他活動(不法投棄ゴミ通報、リサイクル用紙の持参)	0.5	(点)	

環境に優しい日常活動行動チェックシート

具体的には日常生活の中で行う通勤手段、自動車運転方法などの日常活動と清掃、廃品回収及び植樹等への参加などの環境活動を点数化の対象としており、このような活動を通じてEMS活動への当事者意識が芽生え、活動も年々活発化しています。

各活動の点数一覧表とその根拠

1. 考え方
 ○客観的な点数付けを行うため、条件毎に点数を配分した。
 ○客観的な点数評価以外の判断が必要なのは、環境管理事務局や委員会が協議を行い、所員の創意に基づいて点数を決定した。

2. 点数算出根拠表

N/O	内容	点数	N/O	内容	点数
a-1	勤務時間内	0.5	a-2	時間外	1
b-1	拘束(半日程度)	0.5	b-2	(全日相当)	1
c-1	必然性有り	0.5	c-2	勤務時間内に任意の参加、参加	1
d-1	協定締結事項	2			

3. 各活動点数および、その根拠一覧表

(1) 日常活動

N/O	項目	点数	該当	根拠
①	人吉電力所周辺ゴミ、倉庫整理	0.5点/人回	a-1	該当項目(a-1=0.5点)
②	通勤(徒歩・自転車)			別紙「別表2」のとおり
③	通勤(自転車)			
④	ゴミ分別収集・処理	0.5点/人回	a-1, c-2	・該当項目(a-1+c-2)では3点となるが、実施者の負担が軽いため、0.5点とした。
⑤	生ゴミ処理	0.5点/人回	a-1, c-2	
⑥	私有車省エネ運転	0.5点/人	a-2, c-3	・実施者の負担が軽いため
⑦	私有車適正タイヤ空気圧	0.5点/人	a-2, c-3	0.5点とした。

(2) 環境活動

N/O	項目	点数	該当	根拠
⑧	人吉電力所周辺道路清掃	1.5点/人	a-2, c-1	・該当項目(a-1+c-1)=1.5点
⑨	不法投棄ゴミ回収活動	2点/人	a-1, b-1, c-2	・該当項目(a-1+b-1+c-2=2点)
⑩	九州電力(市主催)	4点/人	a-2, b-1, c-3	・拘束時間(半日程度)だが、早朝実施であるため、b-2相当の該当とした。
⑪	地域清掃作業	4点/人	a-2, b-1, c-3	
⑫	離合地区ゴミ回収(準備)	0.5点/人回	a-1, c-2	・No⑧、⑩と同様
⑬	九州ふるまの森づくり	4点/人	a-2, b-1, c-3	

(3) その他活動

N/O	項目	点数	該当	根拠
⑭	不法投棄ゴミの通報	5点/回	d-1	
⑮	リサイクル用紙の回収	1点/20枚	a-2, c-2	・社内で収集したものに限り。
⑯	ペットボトルの回収	1点/20個	a-2, c-3	・社内で収集したものに限り。
⑰	エコファームリーダータ入力	0.5点	c-1	・前月データの入力

点数設定の根拠

(4) 環境方針カードの配付

環境方針は事務所に掲示するとともに、EMSに関する認識を促すため、活動内容を併記した環境活動カードを全所員に配布し、常に環境保全を意識するようにしています。

ISO 14001 環境管理系

環境方針

(基本理念)
 九州電力は「安全で、明るく、清潔な」環境にやさしい「環境」を追求し、社会に貢献する。その中で、環境にやさしい「環境」を追求し、社会に貢献する。その中で、環境にやさしい「環境」を追求し、社会に貢献する。

(基本方針)
 1. 事業所の活動および電力発電、送電、配電などの事業活動を通じて、環境にやさしい「環境」を追求し、社会に貢献する。その中で、環境にやさしい「環境」を追求し、社会に貢献する。

環境活動カード

項目	目標値	具体的活動内容	実【】は
事務所内電力使用量の削減	H11年度実績から▲24%	・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化) ・省エネ標識類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大(別館への導入) ・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整)	全課【発変電】
事務所活動における紙の使用量の削減	H14年度実績から▲34%	・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスパリ防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・ミスコピー防止の徹底 ・プロジェクターの活用(別館会議室のLAN活用)(会議における紙の使用量削減)	全課【発変電】
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量4,100kg以下リサイクル率80%以上	・資源ゴミ分別の徹底 ・一般廃棄物の管理・リサイクルの推進 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化(リサイクル可能な抽出)	全課【送電課】

P5を参照ください。

平成20年度

■EMS目標活動(〃は新規取り組み)

環境活動カード